

I 推計結果

1 目的

本推計は、教育行政上の諸施策を企画立案するために必要な基礎数値を得ることを目的とし、昭和 31 年度から毎年実施している。

本年度は、令和 6 年度から令和 18 年度に至るまでの 13 年間の推計を行った。

2 概要

(1) 公立小学校児童数

公立小学校児童数は減少し、本年度実数である 599,738 人に比べて、令和 10 年度には 61,144 人減の 538,594 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べて、147,809 人減の 451,929 人となる見込みである。

ア 区部では、本年度実数である 395,624 人に比べて、令和 10 年度には 40,423 人減の 355,201 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べて、96,047 人減の 299,577 人となる見込みである。

イ 市町村部では、本年度実数である 204,114 人に比べて、令和 10 年度には 20,721 人減の 183,393 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べて、51,762 人減の 152,352 人となる見込みである。

(2) 公立中学校生徒数

公立中学校生徒数は増加し、本年度実数である 236,653 人に比べて、令和 10 年度には 3,323 人増の 239,976 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べて、47,162 人減の 189,491 人となる見込みである。

ア 区部では、本年度実数である 142,192 人に比べて、令和 10 年度には 5,074 人増の 147,266 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べて、23,133 人減の 119,059 人となる見込みである。

イ 市町村部では、本年度実数 94,461 人に比べて、令和 10 年度には 1,751 人減の 92,710 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べて、21,143 人減の 73,318 人となる見込みである。

(3) 公立小学校1年生数

公立小学校1年生児童数は減少し、本年度実数である 99,046 人に比べて、令和 10 年度には 17,308 人減の 81,738 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べて、23,438 人減の 75,608 人となる見込みである。

(4) 公立中学校3年生数

公立中学校3年生生徒数は増加し、本年度実数である 79,679 人に比べて、令和 10 年度には 122 人増の 79,801 人となる見込みである。令和 18 年度には、本年度実数に比べ、13,747 人減の 65,932 人となる見込みである。

(5) 出生数（各年度4月1日から3月31日までに生まれた幼児数）

出生数は、昭和 47 年度以降減少傾向が続いた後、平成 8 年度からほぼ横ばいに推移した。その後、平成 18 年度から増加傾向が続いたが、平成 28 年度に再び減少に転じた。今後は、同様の傾向が令和 7 年度まで続いた後、横ばいの傾向となる見込みである。